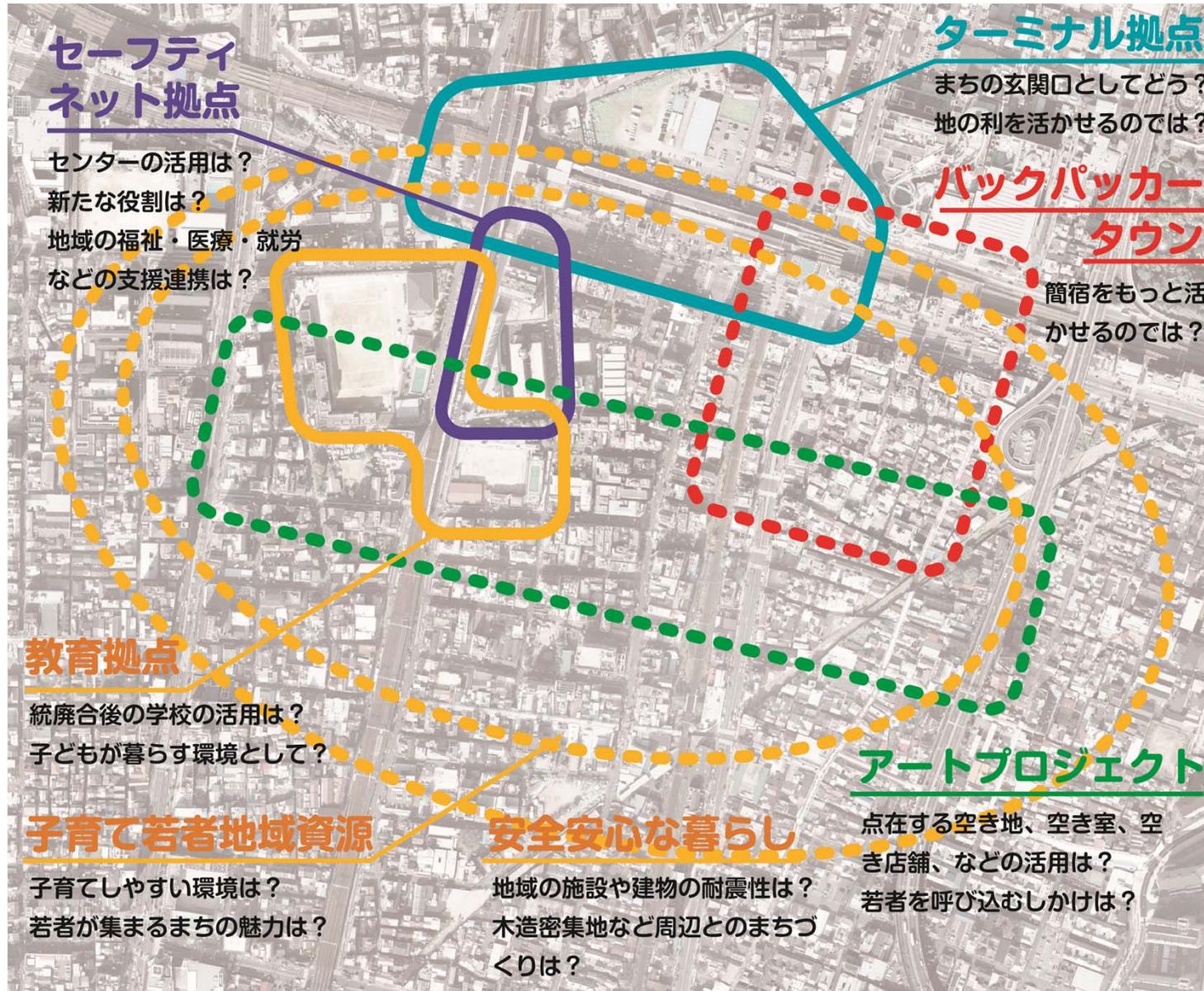


まちづくりのイメージ



■地域の課題や魅力を見直す

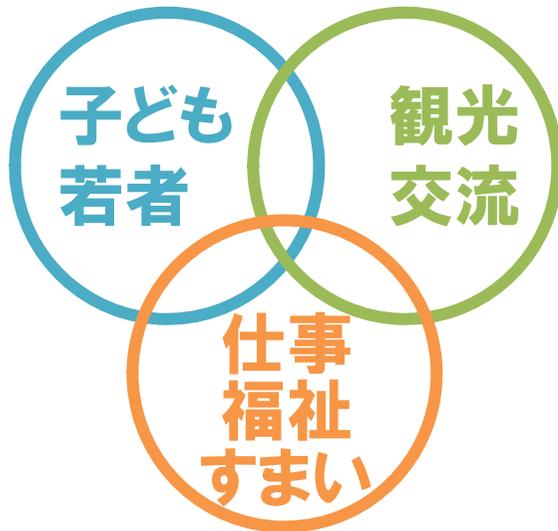
まちづくりのポイントを、労働・仕事、子育て、セーフティネット（福祉、医療等）、国際化、アートなどに整理し、まちの価値を見直す

■地域主体でまちづくりしていくためのビジョンを共有

課題や魅力から、実際のアクションを検討、まちづくりのビジョンとして共有

3つのテーマ 9つのプロジェクト 300以上のアイデア（案）

まちづくりの テーマ



まちづくりのビジョンを3つの大きなテーマに整理、広がりをもって9つのプロジェクトと、300を超える取り組みアイデアが集結

既存制度の“矛盾”や“もうちょっと”を特区で乗り越える

⇒社会的にも有意

さまざまな プロジェクト

すまい

観光・交流

子ども・若者

仕事・福祉

- セーフティネット強化プロジェクト
⇒社会資源 福祉 医療
- コレクティブタウンプロジェクト
⇒住まい 居場所 つながりづくり
- 防災力アッププロジェクト
⇒木造密集市街地 支援ノウハウ
- 国際ターミナル化プロジェクト
⇒交流 観光
- 若者生活環境づくりプロジェクト
⇒チャレンジ 就労
- 小中一貫学校地域づくりプロジェクト
⇒学校活用 環境改善
- 子ども子育てプロジェクト
⇒子育て支援 住まいづくり
- 環境循環型産業づくりプロジェクト
⇒エコ 地域に役立つ仕事づくり
- 歴史継承共有プロジェクト
⇒発信 共有

具体の アイデア

約300をこえるアイデア

- ・まちづくりの情報発信と連携
- ・ゴミや覚醒剤問題での警察連携
- ・バスターミルの設置と観光案内
- ・地域の総合案内をワンストップで
- ・若者も集まる屋台ストリートと簡宿
- ・回遊できる商店街と居場所づくり
- ・リサイクルで地域産業を創出
- ・子ども見守りで地域に役立つ仕事
- ・多様な地域内外就労の案内窓口
- ・単身高齢者の多様な居場所づくり
- ・萩小の学校施設としての維持と活用
- ・子ども支援つきの住宅づくり
- ・先進医療の施設誘致や連携
- ・労働者のまちを伝える資料館づくり
- ・地域内外のつながりづくりをアートで
- ・障がい者アートなどで就労支援
- ・地域の建物の耐震問題の改善
- ・調査、研究、学習機会と情報発信
- …その他多数

各テーマ詳細

まちづくりの主体とイメージ

大カテゴリ	中カテゴリ	キーワード	主な実態・課題・疑問	■課題	●魅力
地域の暮らし	まちづくり	主体	・「誰」のために「まちづくり」をするのか	■	
		主体	・現在、生活をしている人たちだけが地域の主体か？今後やって来る人たちは？	■	
		拡大会議	・拡大会議は、釜ヶ崎や地域すべてを代表しているわけではない	■	
		特区構想	・西成特区構想がよくわからない	■	
地域主体のまちづくり			・立場の違いを認めつつ「まちづくり」のビジョンを具体的に詰めていく		
			・住民参加の機会		
			・もう行政主導にはさせない。主体性を持ったまちづくりを		
			・みんなで話し合い、たちかえる条例を作成する		
学校の活用			・学校跡地を利用してスポーツ施設の創設と全国大会の実施		
			・小・中学校の図書館などの施設や運動場を放課後および休日、地域に開放する		
			・子どもたちのスポーツ競技や練習風景を高齢者が眺めて楽しむ場を設ける		
			・地域が整備され安定するまでは、萩之茶屋小学校を何らかの形で維持		
			・萩小を、今宮小中学校の第2運動場など		

■地域主体のまちづくりをカタチに

地域の課題やビジョンの共有、西成特区構想や、小中一貫校など、大きな転換に対して地域主体で動けるようプラットフォームを再確認していく。

各テーマ詳細

地域の暮らしと仕事

大カテゴリ	中カテゴリ	キーワード	主な実態・課題・疑問
地域の暮らし	寄せ場	寄場機能	<ul style="list-style-type: none"> ・日雇い求人の低迷と寄り場機能の低下
		寄せ場	<ul style="list-style-type: none"> ・「寄せ場」としての役割が終わったとしても、問題が解決した訳ではない
		労働者の孤立化	<ul style="list-style-type: none"> ・仕事を求める労働者が「寄せ場」を失えば、更に全国に散在し孤立化していく
		就労支援	<ul style="list-style-type: none"> ・「ビジネス」と「ささえあう」は共生できるか
		住まい	<ul style="list-style-type: none"> ・ここは仕事の場で住むところではないと考えている人もいる
仕事づくり 生きがいづくり			<ul style="list-style-type: none"> ・未利用の市有地を生かした効率主義一辺倒ではない仕事づくり ・高齢者が自分の体力能力にみあった自分のペースでできる仕事づくり ・こんな仕事ならできる、こんな仕事をやりたいという申請を受けコーディネーターが仕事化 ・生活保護利用者が仕事に参加した場合、ポイント制とし、就労と同等の扱いとする ・青年～大人の仕事づくりの場をつくる ・今ある就労システムを継続しつつ、更に多様な就労支援を充実させる ・野菜工場（西成産野菜の地産地消を目指す） ・花卉栽培 ・果樹園 ・農産物の直売 ・定期市 ・炊き出しキッチン（炊き出しグループや数人のグループで共同炊事し、食事を楽しむ） ・料理教室（単身高齢者のための手軽で健康に良い食事づくりを教えあう） ・ジャムや佃煮など加工食品づくり ・再資源化ファクトリー ・リヤカーで資源ゴミを回収。大型ゴミの持込み歓迎。ゴミの分別と再利用を図る ・電化製品、家具などの修理と再利用 ・花壇や遊歩道整備・道路清掃、樹木の剪定、草刈 ・お互いの安否確認 ・買い物、通院などの付き添い、荷物運び ・子どもたちの登下校の見守り、地域内の名所案内など
			<p>■仕事づくりとパーソナルサポート 個々人にあった仕事づくり</p>
			<p>■役割づくりと生きがいづくり 地域のなかで、社会のなかでの役割を生み出す</p>

各テーマ詳細

空間活用①

大カテゴリ	中カテゴリ	キーワード	主な実態・課題・疑問
地域の環境	空間活用（みち）	居場所	■ ・行き場がなく道路上でたむろしている生活保護を受けている者も多い
		居場所	■ ・狭い部屋から出て道路上で過ごす者も多い
		移動	■ ・他地域から通り抜けようとする、非常に通行しにくい状態にあり、避けようとする
		道路 歩道	■ ・道幅は広いが、歩道がない
	空間活用（あいりんセンター）	センター	■ ・労働センター、医療センター、新今宮駅、市営住宅など多くの問題を抱えている
	空間活用（線路跡地）	空き地	■ ・線路跡地がフェンスで仕切られ活用されていない
あいりんセンターの活用	<ul style="list-style-type: none"> ・現「あいりんセンター」「市営住宅」を建て替え ・1・2階はショッピングモール ・2・3階は市、府の役所分室 ・それ以上はファミリーマンション ・南海本線、JR新今宮駅を地下や階上で連結し、一体化 ・労働センターの解体と総合イベント会場の設立 		

■ あいりんセンター界隈の空間活用

先進医療拠点や、福祉窓口、子育て支援窓口、就労支援窓口など、**セーフティネット拠点化**や、新今宮駅と連結したバスターミナルや総合インフォメーションセンターの設置など、玄関口としての**ターミナル化**などをめざす

各テーマ詳細

空間活用②

大カテゴリ	中カテゴリ	キーワード		主な実態・課題・疑問	■課題	●魅力
地域の環境	空間活用（みち）	居場所	■	・行き場がなく道路上でたむろしている生活保護を受けている者も多い		
		居場所	■	・狭い部屋から出て道路上で過ごす者も多い		
		移動	■	・他地域から通り抜けようとする、非常に通行しにくい状態にあり、避けようとする		
		道路 歩道	■	・道幅は広いが、歩道がない		
	空間活用（あいりんセンター）	センター	■	・労働センター、医療センター、新今宮駅、市営住宅など多くの問題を抱えている		
	空間活用（線路跡地）	空き地	■	・線路跡地がフェンスで仕切られ活用されていない		
空き地の活用				・子どもや高齢者、障がいを持つ人、地域の人々、旅人にとって憩いの場／働く場となるよう活用する		
				・空き地で馬などを飼うのはどうか		
				・未利用地を共用スペースとして利用するための整備		
				・市有地のほか、個人、法人所有の空き地や空き店舗、空き家などについても、活用アイデアを募集		
				・地域の活性化につながると評価されるものについて、行政が活用を借上げ、援助する		
				・広い道路や、公園、空き地で、朝市、露店を目玉に！※合法的に、実験的に、にぎわいを活かして		

■空き地などの空間活用

線路跡地や、空き店舗、みち空間などを、コミュニティの場として活用。朝市や露店といった地域オリジナルの活用方法も、実験的に制度を整備しつつ、活かしていく方向をめざす。地域に眠っている空間を使って、様々な居場所づくりを展開。

各テーマ詳細

居場所づくり

大カテゴリ	中カテゴリ	キーワード	主な実態・課題・疑問
地域の暮らし	居場所	日中生活の場	■ ・路上や立ち飲み屋など、時間つぶしの居場所しかない
		シェルター	■ ・夜間にシェルターに宿泊していた人々が朝には出される
		緑化 花	■ ・緑化をすすめているおじさんがいるが、行政と対立している
		まつり イベント	● ・まつりやイベントがいろいろある
居場所づくり			<ul style="list-style-type: none"> ・社会参加やつながりづくりなどを生み出す創造的な居場所をつくる ・いくつかのコミュニティの場を創設し、そこに集まった力で集客力ある大規模なストリートを運営 ・高齢者の地域住民を中心に、歴史の語り部館の創設や、イベント館の創設 ・快適な居場所としての情報交換ひろば ・仕事のない人たちや高齢者が、昼間も有意義に過ごせる場所や作業所を考えながらつくる ・単身高齢者をはじめとした居場所づくり ・アートのスペースの開設、音楽・演劇・美術などに若者が使える安価な施設をつくる ・地域住民と演芸、文化、芸術を楽しめる居場所を

■空間活用から居場所づくりへ

社会参加の場、地域住民とのつながりの場、情報交換の場、文化・芸術など創造の場など、地域性にあわせた居場所づくりをめざす。仕事や日中活動など、日々の暮らしのなかで、生きがいや楽しみ、喜びなどを感じられる居場所を地域住民とともにつくる。

各テーマ詳細

ターミナル化と地域の発展

大カテゴリ	中カテゴリ	キーワード		主な実態・課題・疑問
地域の環境	まちの発展	将来性	■	・このままでは沈没あるのみ
		計画性	■	・まち全体をつくり替えることは容易ではない
玄関口・ターミナル化	<ul style="list-style-type: none"> ・ここは「萩之茶屋」、「西成区」の玄関である ・新今宮駅周辺JR2本、地下鉄3系統、南海線2系統、国道43号、26号、堺筋が通る ・梅田「大阪駅」に次ぐターミナルにふさわしい場所 ・再開発して玄関にふさわしいものにつくりかえる ・26号線から堺筋まで、長大な駅ビルをつくる ・この区間は高架化し、浪速区側とも一体化する ・43号線花園北交差から43号線太子交差までの南側も関連施設を建設 ・一大ターミナルの構築 ・関空、奈良方面、神戸方面、大阪中心部へのハブ機能を持たせる ・新今宮駅と労働センターを地下もしくは地上で繋ぎ大きなターミナルにする ・新今宮駅を西成の玄関口とするため、駅ビルを建設 ・地下鉄御堂筋線・堺筋線の動物園前駅、阪堺線の南霞町駅を含めての商業施設を建設 			

■人・もの・情報・文化が行き交うターミナル

多くの**人**を集めてきた歴史を活かし、**国際的**な交流拠点をめざす。鉄道網、道路網など、交通の利便性や、低廉かつ中長期的にも利用可能な**宿泊施設**、周辺の**観光資源**など、旅行やビジネス、ヒューマンサービス(福祉、就労、医療など)の場として、幅広く人々が行き交い、情報がストックされ、文化も育つ**ターミナル**をめざす。

各テーマ詳細

国際化と地域の発展

大カテゴリ	中カテゴリ	キーワード	主な実態・課題・疑問
地域の環境	国際ゲストハウス地域	バックパッカー	● 収容ポテンシャル：60軒×100人、稼働率7割で年間153.3万人
	交通	交通 利便性	● 交通の利便性が極めて高い
	商店	飲食	● 飲食店、弁当屋が多い
		グルメ	● B級グルメが豊富
		飲食	● 食料品が安い
		商店街	● 商店街がある
国際ゲストハウス地域	<ul style="list-style-type: none"> ・新今宮周辺を「大阪国際ゲストハウス地域（仮称）」とする ・大阪市や西成特区の観光施策のなかで、関西広域圏の国際宿泊拠点と位置付け育成する ・ネーミング、ゾーニング、施策への盛り込む ・官民挙げて、看板や標識の英語化か英語併記化 ・堺筋、国道43号線、銀座通り、動物園前一番街などを、「大阪国際ゲストハウス地域」と関連する線形の波及（支援）地帯と位置付け育成 ・面のゾーニング、点の指定、点から線へ線から面への戦略 ・OIG加盟の簡宿を点に指定、経営転換のモデルケースと位置付ける ・労働者向けの簡宿（福祉併用型簡宿も含む）から、外国人・国内観光者向けのゲストハウスへの経営転換を後押しする施策を実施 ・ハード・ソフト面での変容を促し、方向性を示すための助成 ※東京都台東区の取り組みを参考に ・「大阪国際ゲストハウス地域（仮称）」およびその線形の波及地帯に立地する公共性の高い機関（例えば、鉄道事業者・警察・救急など）の外国人対応を強化する ・観光目的の来訪者および滞在者が、安心して安全に滞在できる環境整備に取り組む 		

■国際化とエリアマネジメント

ターミナル化などを推進するとともに、この地域の集客力を活かした国際ゲストハウスエリアを形成・発展させる。さらに地域全体を巻き込み、商店街の活性化や、空き地・空き店舗などの空間活用も視野に、簡易宿所資源や地域資源の魅力を活かしていく。

各テーマ詳細

子ども・子育てのまちづくり

大カテゴリ	中カテゴリ	キーワード	主な実態・課題・疑問
地域の暮らし	子ども・子育て	家族 住まい	<ul style="list-style-type: none"> ・現状では、他地域から子育て世代のファミリーを誘致しようとしても住むところがない
		子育て	<ul style="list-style-type: none"> ・ここで子育てしようと思わないのでは
		家族 歴史	<ul style="list-style-type: none"> ・以前、生活していた子どもたちは別のところに住んでいる
		子育て環境	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の現状を見て、子どもたちは将来に希望が持てず、イキイキと暮らせない
		子育て環境 家族	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもを連れて家族を受け入れていける環境があるか
		家族 歴史	<ul style="list-style-type: none"> ・あいろん地域及びその周辺にかつて生活していた子どもたちは、他地域へ出た
		子ども あそび	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの声が聞こえるまち、子どもを呼び込むまちづくりがテーマに掲げられている
		子ども 想像力	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちは鋭敏な想像力を持っている
			<ul style="list-style-type: none"> ・子育てや高齢者が安心して生活のできるまちに ・子どものいる所帯にはより優遇する ・3世代同居には減免等優遇する ・単身高齢者向けの福祉マンションから家族・子連れ向けの居住施設への経営転換を後押しする施策を実施する ・ハード・ソフト面での変容を促し、方向性を示すための助成 ・地域全体で子どもを見守り、ともに育て合うまちづくり ・家族が住める住宅やアパートをつくる（簡宿の転用等も?） ・自立援助ホームをつくる ・青年たちの文化活動の場をつくる ・3~4年後の小中一貫校を成功させ、高いレベルの学校づくりにより、区外から子育て世代が流入、地域は活性化 ・赤ちゃんの駅の協力者を増やす※施設や店舗などを活用し、地域のママ・パパを中心に、授乳、おむつ替え、トイレなどの場所を開放する取り組み ・子どもたちが思いやり深く、人間社会に信頼をもって育つために、高齢者にとっても良好な環境をつくっていく必要がある ・青少年の生活の場が必要 ・西成区の「要対協」スタイルを発展させ、脱縦割りのための地域コーディネートシステムを充実 ・「ケア会議」と「ケース会議」のコーディネートや「児童虐待予防地域協力員」を区の要対協に委託 ・いきいき事業を充実（対象・場所の拡大）し、中学校区の子どもや保護者の居場所や相談支援の拠点づくり ・子ども支援関係制度、役割、機能、事業の整理が必要

子ども・子育て

■地域で子育て 地域と子育て

子育て環境を住まい、支援、教育、地域、制度などから改善していく。また今ある子育て支援の団体や施設、取り組みを評価しつつ、子育てのまちをめざす。